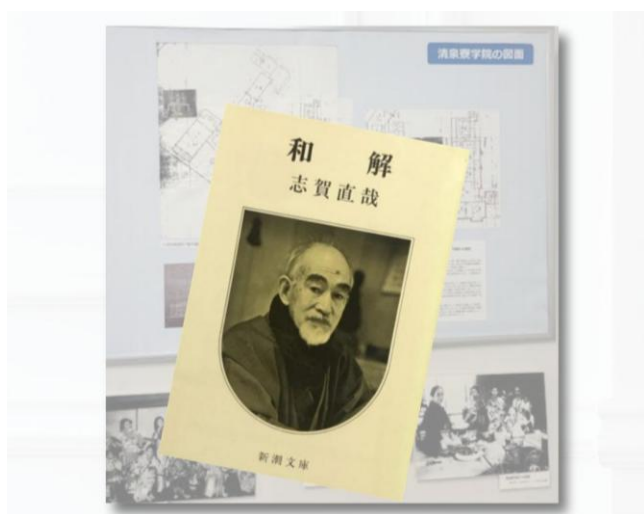




史料室だより

清泉女子大学史料室 Seisen University Archives

No.3 志賀直哉と清泉寮



清泉女子大学の設立母体である聖心侍女修道会の4人のシスターズが来日して初めて修道院を設立したのは牛込（現在の新宿区市ヶ谷）でした。

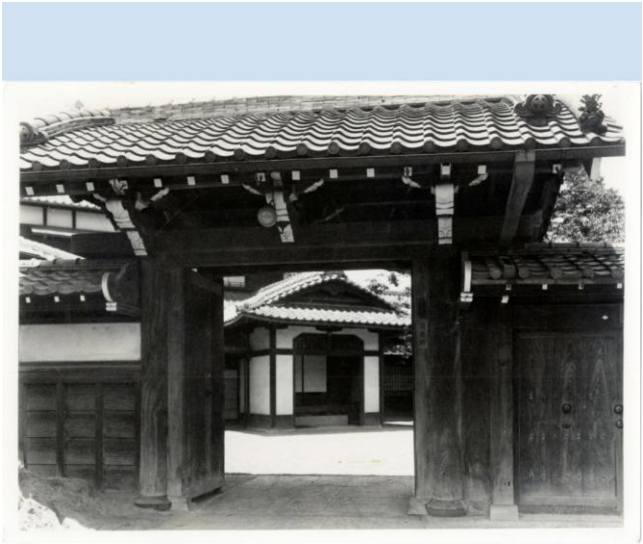
その2か月後には麻布区三河台（現在の港区六本木）の旧志賀直温邸（志賀直哉の父親の屋敷）に修道院を移し、清泉女子大学のルーツである女子教育機関「清泉寮」を開設しました。

この屋敷で志賀直哉は14歳から29歳までを過ごしました。小説『和解』の舞台となった場所です。

「清泉寮」は残念ながら東京大空襲で焼失し現存しません。

写真は「清泉寮」（旧志賀直温邸）の庭園と玄関の様子です。

志賀直哉の妹の淑子さんの娘、喜久子さんは清泉寮学院（清泉寮の後身）の卒業生であり、聖心侍女修道会のシスターでもありました。志賀家とのご縁の深さが感じられますね。



麻布区三河台 旧志賀直哉邸



麻布区三河台 旧志賀直哉邸 庭園

「史料室だより」は清泉女子大学公式インスタグラムにて連載中です。